

秋の剪定講習会を開催しました。

11月6日（火）花畑地域学習センター

11月8日（木）足立区役所・中央本町三丁目のびのび広場

岩田造園土木（株）の岸本氏を講師に2会場で実施しました。

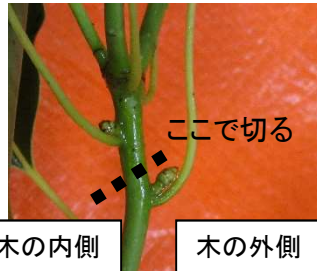


前半は、1時間ほど講義を受けました。

剪定の際は、適期に正しい位置で切ることが大事だそうです。正しい位置で切ると切り口がきれいに塞がりますが、そうでないとそこから枯れこんでしまいます。

次に、不要枝の種類や剪定の方法も教わりました。基本は、不要枝を見極めて切る「すかし剪定」で樹形を整えると良いそうです。

また、枝を切る時には、芽の位置を確認し、右写真のように外芽のすぐ上で切ると、樹形が良くなり、花芽もたくさん付きやすくなります。



枝を輪切りにした様子



剪定に使う道具についても教えていただきました。剪定バサミには大小あり、手に合うものを選びましょう。剪定用ノコギリは、他の枝を傷つけないように片刃になっているそうです。また、刈込バサミは使いやすいように柄と刃に角度がついています。作業中はケガ防止のため、必ず伏せて置きましょう。

後半は、実習を行いました。6日は雨天のため室内の実習となりましたが、枝を木に見立てて枝抜きの実習などを行いました。



8日は屋外で実習しました。剪定バサミや刈込バサミの使い方を教わりながら、実際に生垣や低木を切るほか、電動バリカンを使っての刈り込みも体験しました。

職人さんから丁寧に指導を受け、皆さん緊張しながらも楽しそうに作業されていました。

剪定講習会は、春（5月予定）にも開催する予定です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

